



# 碧南ロータリークラブ週報

第2547回例会 平成23年5月18日(水)

● 会長 奥田 雪雄 ● 幹事 新美 宗和 ● 会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール  
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
 ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)  
 E-mail: info@hekinan-rc.jp



地域を育み、大陸をつなぐ

■ 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優

## ● 齊 唱

ロータリーソング「我らの生業」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

昭和シェル石油(株)碧南LPG基地 所長 井上宏之氏



井上宏之氏

## 会 長 挨拶

来る、5月22日は、国際生物多様性の日です。本日、5月18日の中日新聞朝刊社説に名古屋議定書のことについて載っていました。昨年秋の生物多様性条約第10回締約国際会議(COP10)で採択された名古屋議定書に日本が署名したと。COP10の成果を守るということは、多様性ないのちの価値を守ることでもあります。



奥田雪雄会長

わたしたちは、動植物や微生物など、無数のいのちの恵みを受けて日々生きております。それゆえ、わたしたちの暮らしに恵みをもたらす多様ないのちと、そのつながりである生態系を守り、将来に残していくことが我々の使命でもあります。

東日本大震災の影響による福島第一原発の災害を受け、多くのいのちが危険にさらされている今こそ、多様ないのちと恵みにより一層の理解を深めるときでもあります。

海も田んぼも生物多様性の重要なステージであります。その海や田んぼの生きものたちにより多くの人々が関心をもって頂ければ、被災地の屋台骨である水産や農業再興への追い風にもなるかと思えます。ドイツの思想家フリードリヒ・フォン・シラーは、太陽が続く限り、希望もまた輝くと。イギリスの劇作家ウィリアム・シェイクスピアは、不幸を治す薬は、ただもう希望よりほかはない、と申しております。どんなに小さな光でも結構です。被災地の皆様、是非とも希望という光を見つけ、一歩、ほんの一歩、前へ踏み出されることを希望します。

## 幹 事 報 告

幹事報告書の中で、理事会報告の中の本年度事業報告書作成については、各委員長におかれましては事業終了次第、すみやかに提出下さい。協議事項1.の名誉会員推戴については、本年度に引き続き、平岩慶一様と禰宜田市長をお願いして参ります。協議事項2.の次年度編成表についてはお手元に配布してあるとおりです。



新美宗和幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数71名(内出席免除者16名の内出席者2名)出席者53名	
出席対象者 53/63名	出席率 84.13%
欠席者18名(病欠者2名)	前々回修正出席率 98.41%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

- 加藤丈太郎君 18人目の孫が今朝誕生しました。小生、子供が5人居ます。子供達は子供が好きなのか？子供を作るのが好きなのか？多分両方だと思っています。
- 森田 英治君 過日、杉浦健次様に大変お世話になりました。
- 加藤 良邦君 } 5月15日、杉浦健次さんに楽しい一時を頂きました。有難う御座いました。  
亀山 裕一君 }
- 杉浦 健次君 楽しい事がありました。
- 平岩統一郎君 今度、社団法人刈谷法人会碧南支部長を黒田昌司会員の後を引き継ぎました。
- 新美 宗和君 日曜日に、杉浦健次さんにお世話になりました。大変楽しかったです。
- 奥田 雪雄君 5月15日(日)杉浦健次君に大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 黒田 泰弘君 5月15日(日)に行いました、チャリティーコンサートにて、たくさんの義援金が集まりました。ありがとうございました。

## 卓 話

### 「LPGの現状と今後」 昭和シェル石油(株)碧南LPG基地所長 井上宏之氏

LPG (Liquefied Petroleum Gas, 液化石油ガス) は、圧縮することにより、常温で容易に液化できる気体燃料で、プロパンは20℃で0.86MPa、ブタンは0.21MPaで液化される。ガス漏れが発生した場合、空気より重く、下に滞留し爆発する危険性があるため、着臭剤を添加することが義務づけられている。



井上 宏之氏

LPGの供給は、油田の内部に滞留しているガスから分離、抽出する方法(供給量の24%)、天然ガスから分離、抽出する方法(供給量の35%)、原油の精製過程で分離抽出する方法(供給量の41%)の3通りがある。

LPGマーケット、中期需給見通しは次のとおりである。

- ・中東(カタール、UAE、イラン)のLNG開発に伴ったLPGが大幅増産される。
- ・2013年には中東からのLPG需要は、中国、インドが牽引するものの、特に中国は、国内Refinery供給玉への依存が続き、両国へのLPG輸入需要は増加しない。中東(石化原料として)、東南アジア(民生用として)での消費拡大が継続される。
- ・Netではサプライロング基調で、2012年までに2010年比8 million ton増加。これに伴い、輸入指標価格CPのポジションは原油対比で相対的に低下するが、増産するカタール、アブダビもサウジCPに追随しており、産ガス国は価格支配力が維持される。

LPGの環境負荷としては、石油や石炭に比べ、CO2排出量が少ない。また、ライフラインとしても、都市ガスや上下水道に比べ、災害への復旧が早い。これは、LPGが需要家ごとに個別に供給可能な「分散型エネルギー」であるため、災害発生時にガスの供給が遮断された場合でも、個別に調査、点検を行うことで迅速に復旧させることができるためである。

次回例会案内 平成23年6月1日(水)  
卓話「安全教育における労働災害の防止について」  
(社)名古屋運搬機械化協会 部長 杉浦淳夫氏